

海外渡航者の感染症予防

海外では、気候や風習、衛生状況の違いにより日本国内では流行のない感染症に感染することがあるため、あらかじめ予防策について情報を収集し、予防策を講じておきましょう。

1. 海外渡航のためのワクチン

海外渡航の予防接種には、主に2つの側面があります。1つは入国するために必要なものです（接種証明が必要なもの）。もう1つは、海外で感染症から体を守るためのものです。

○予防接種の例

黄熱	感染リスクのある地域(中央アフリカ・中南米)に渡航する人
A型肝炎	途上国に中・長期(1か月以上)滞在する人
B型肝炎	血液に接触する可能性がある人
破傷風	冒険旅行等、けがをする可能性の高い人
狂犬病	動物と接触する人。狂犬病の流行地域(アジア・アフリカ・アメリカ等)へ渡航する人
ポリオ	流行地域(アジア・中近東・アフリカ)に渡航する人
日本脳炎	流行地域(アジア)に長期滞在する人

○予防接種を希望する場合

複数回接種が必要なものもありますので、期間的な余裕をもって医療機関に相談しましょう。また、予防接種の種類によって、近隣の医療機関では対応できないものもあります。「トラベルクリニック」標榜の医療機関や検疫所で相談しましょう。

関西空港検疫所 電話(072)455-1283

大阪空港検疫所 電話(06)6571-3522

神戸空港検疫所 電話(078)672-9653



2. 食べ物・水にご注意を

胃腸炎の予防のために、生水、氷、サラダ等の生物は食べないようにしましょう。しっかり加熱された食べ物を食べるようにしましょう。

食事の前には丁寧に手洗いをしましょう。

3. 虫にご注意を

蚊・ハエ・ダニ・ノミ等の虫に刺されたり、咬まれたりすることにより感染症に罹患することがあります。長袖、長ズボン等で肌の露出を避け、虫除けスプレー等を効果的に使用しましょう。

4. 体調が悪い場合は

発熱、下痢等、体調が悪い場合は、自己判断せずに医療機関を受診しましょう。帰国時に体調が悪い場合は、必ず検疫所でご相談下さい。

(参考HP 厚生労働省検疫所FORTH <http://www.forth.go.jp/index.html>)

大津市保健所保健予防課 077-522-7228